

楽天USリート・トリプルエンジン (リアル)毎月分配型

追加型投信/海外/不動産投信

交付運用報告書

(作成対象期間 2020年2月18日～2020年8月17日)

第115期(決算日 2020年 3月17日) 第118期(決算日 2020年 6月17日)
第116期(決算日 2020年 4月17日) 第119期(決算日 2020年 7月17日)
第117期(決算日 2020年 5月18日) 第120期(決算日 2020年 8月17日)

当作成期末	
基準価額	1,075円
純資産総額	10,560百万円
騰落率	△42.1%
分配金合計	90円

(注)騰落率は分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。
<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記ホームページアドレスにアクセス
⇒「基準価額一覧」から当該ファンドを選択
⇒「運用報告書(全体版)」を選択し、閲覧およびダウンロード
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者の皆様へ

平素は当ファンドにご投資いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、このたび上記決算を行いました。当ファンドは、主として米国リートETFならびに対円貨でのブラジル・レアルのパフォーマンスを反映するユーロ円債(リート連動債)に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。ここに当期間の運用状況につきまして、ご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

楽天投信投資顧問株式会社

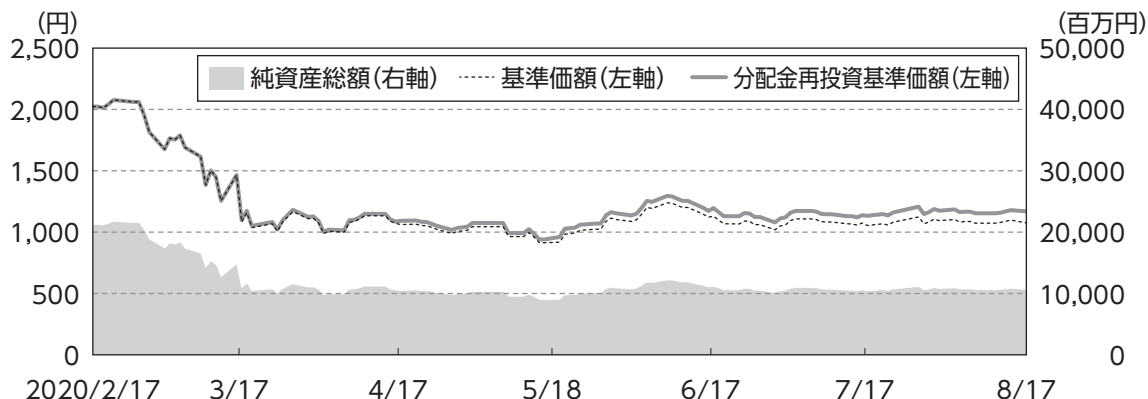
<https://www.rakuten-toushin.co.jp/>

東京都港区南青山二丁目6番21号
本資料(交付運用報告書)の記載内容のお問い合わせ先
TEL: 03-6432-7746
受付時間: 営業日の午前9時から午後5時まで
※お客様のお取引内容等につきましては販売会社にお問い合わせください。

Rakuten 楽天投信投資顧問

運用経過の説明

1 基準価額等の推移



第115期首：2,023円

第120期末：1,075円(既払分配金90円)

騰落率：△42.1%(分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

2 基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として米国の不動産投資信託指数に連動する上場投資信託(米国リートETF)の投資信託証券ならびに対円貨でのブラジル・レアルのパフォーマンスを反映するユーロ円債(リート連動債)に投資しますので、リート連動債の価格変動が基準価額の主な変動要因となります。そして、リート連動債の主な価格変動要因は、米国リート、ブラジル・レアル/円、米ドル/円の各相場の変動となります。

当作成期末における分配金再投資基準価額は、前作成期末比大幅に下落しました。

米国リートETFが前作成期末比大幅に調整したことや、ブラジル・レアルが対円で急落したことが、基準価額を大きく押し下げた主な要因となりました。

3 1万口当たりの費用明細

項 目	当作成期		項 目 の 概 要
	2020年2月18日～2020年8月17日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	9円	0.766%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は1,198円です。
(投信会社)	(5)	(0.383)	・委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(4)	(0.356)	・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、 口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(0)	(0.027)	・運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	－	－	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	1	0.078	(d) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(1)	(0.042)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.020)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷費用)	(0)	(0.008)	・印刷費用は、有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷および提出等に係る費用
(その他)	(0)	(0.009)	・その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料、その他投資信託財産の運営にかかる費用等
合 計	10	0.844	

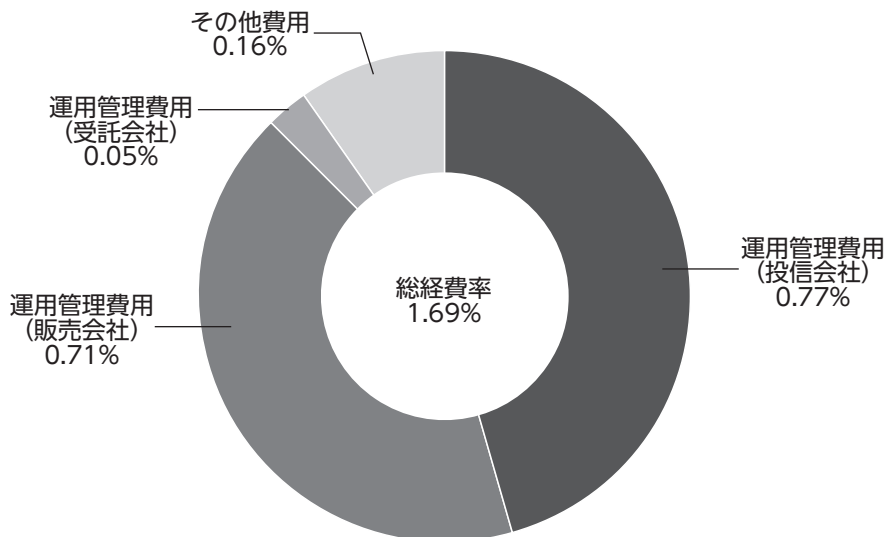
(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■（参考情報）総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.69%です。



(注1) 各費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

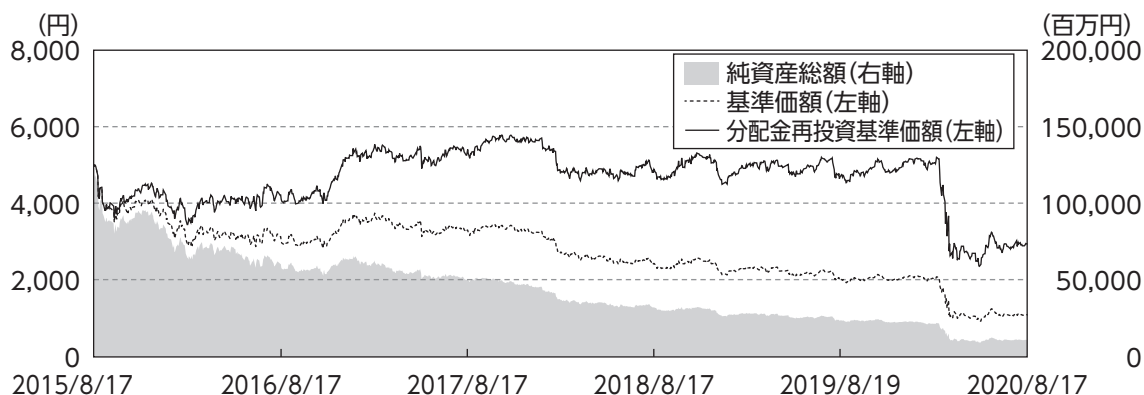
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

4 最近5年間の基準価額等の推移

(2015年8月17日～2020年8月17日)



	2015年8月17日 決算日	2016年8月17日 決算日	2017年8月17日 決算日	2018年8月17日 決算日	2019年8月19日 決算日	2020年8月17日 決算日
基準価額 (円)	4,965	2,995	3,297	2,426	2,011	1,075
期間分配金合計 (税込) (円)	—	1,080	600	580	360	210
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△17.4	31.9	△9.6	△2.9	△38.3
純資産総額 (百万円)	116,785	57,726	50,486	31,920	23,357	10,560

(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

(注4) 分配金再投資基準価額は、2015年8月17日の基準価額を起点として指数化しています。

5 投資環境

●米国リート市場

当作成期間の米国リート市場は、2月後半から3月中旬にかけて大幅に下落し、その後下げ幅を縮小する展開となったものの、前作成期末比で大幅に下落した水準で期末を迎えました。

期初から3月下旬にかけては、米国内での新型コロナウイルスの感染拡大が加速し、急激な景気減速への懸念から米国株式をはじめリスク資産が売られる展開となり、米国リート市場も小売関連やホテル・セクターなどが下落を主導するかたちで、大きく調整しました。

しかし、3月下旬以降は、FRB(米連邦準備制度理事会)や政府による経済対策が迅速かつ大規模であったことに加え、新型コロナウイルスの感染拡大ペースに鈍化の兆しや全米各州において段階的に経済活動を再開する動きが見られたことなどが好感され、下げ幅を段階的に縮小する展開になりました。その後、6月中旬から作成期末にかけては、フロリダ州やテキサス州など複数の州において新型コロナウイルスの新規感染者数が再び拡大し、経済の回復基調の持続性に対する不透明感が高まったことなどがリート市場の重石となった一方で、複数の製薬会社によるワクチン開発に進捗が見られたことや、金融緩和政策の継続期待を背景とする長期金利の低下などが支援材料となり、概ね底堅い値動きとなりました。

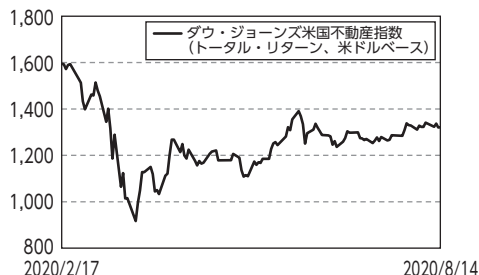
ただし、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に実店舗での買物や旅行・出張が控えられ、勤務形態がオフィスから在宅へシフトするなど人々の生活様式に変化が見られるなか、その影響を強く受けるホテルや小売関連、オフィス・セクターなどの上値は重く、リート全体の足を引っ張ることとなりました。その結果、米国リーートの底値からの上昇幅は、米国株式市場と比べて劣後するかたちとなりました。

●為替市場

ブラジル・リアル/円相場

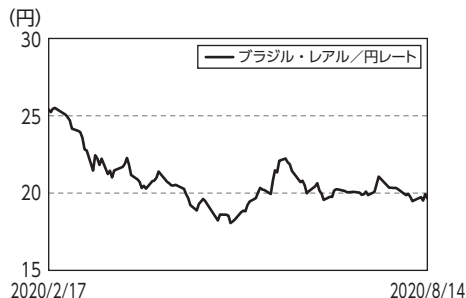
当作成期間のブラジル・リアルは、期初から5月半ばまでほぼ一本調子で大きく調整しました。5月中旬から6月上旬にかけては持ち直しの動きを見せたものの、その後失速し、最終的には前作成期末比で大幅に下落した水準で作成期末を迎えました。

期初から3月下旬までは、当初中国で感染拡大した新型コロナウイルスが中国国外にも急速に波及し、それに伴い、各国政府が渡航制限や国境閉鎖、外出禁止措置などの感染防止策を強化したことから、世界的に経済活動が著しく停滞しました。これを受けて、グローバル規模で景気後退が急速に進むとの懸念が一気に強まり、投資家のリスク回避姿勢が極端に高まったことから、株式をはじめとするリス



(出所)ブルームバーグのデータ等を基に楽天投信投資顧問にて作成

※ファンドの基準価額への反映を考慮し、作成期間を1営業日前にずらして作成しております。



(出所)ブルームバーグのデータ等を基に楽天投信投資顧問にて作成

※ファンドの基準価額への反映を考慮し、作成期間を1営業日前にずらして作成しております。

ク資産全般で価格が急落し、投資家のリスク選好姿勢との感応度が高いレアル相場においても、加速度的にレアル安が進む展開となりました。また、世界的に株価が上昇に転じた3月下旬以降も、世界的な景気後退による需要減への懸念等から原油価格が急落を続けるなど主要な資源価格の回復が遅れたことや、ブラジル国内の累計新型コロナウイルス感染者数が米国に次いで世界で2番目の規模になるなど、国内の感染状況が急速に悪化したこと等を材料に、レアルの下落が続く展開となりました。

5月下旬以降は、中国や欧米で経済活動の再開が進むなかで、資源需要の回復期待から、ブラジルの主要輸出品目の一つである鉄鉱石価格が上昇するなど、資源価格の持ち直しが好感され、代表的な資源国通貨であるレアルの反発につながりました。

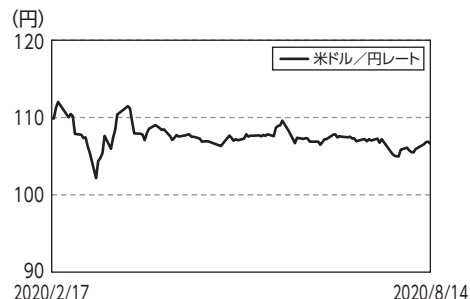
しかし、6月中旬以降は米国や中国で新型コロナウイルス感染者の再拡大が見られ、感染第2波への懸念が広がるとともに経済の早期回復への過度な期待が後退したことや、ブラジル国内の感染者の拡大に歯止めがかからないなかで、レアルの騰勢は長続きせず、その後は作成期末まで上値が重い展開が続きました。また、国内景気の減速を受けて、ブラジル中央銀行が利下げを継続し、金利面からの投資妙味が減退していったことも、レアルの上昇を抑える要因となりました。

米ドル／円相場

当作成期間の米ドル／円相場は、前作成期末比で米ドル安／円高が進みました。期初1米ドル＝110円近辺でスタートした米ドル／円相場は、作成期末には1米ドル＝106円近辺で推移する展開となりました。

期初から3月上旬にかけては、新型コロナウイルス感染拡大や原油価格の急落を背景としたリスク回避姿勢の強まりや、FRBによる政策金利の引き下げを受けた米長期金利の低下などから米ドル安／円高が進行し、米ドルは対円で一時1米ドル＝102円を割り込む水準まで売られました。しかし、3月下旬にかけては、現金としての米ドル需要の高まりを背景に一転して米ドル高が進み、一時1米ドル＝110円台まで急反発する場面が見られるなど米ドル／円相場は乱高下する展開となりました。

4月以降は、各国中央銀行の積極的な流動性供給を受けて米ドルの需給ひっ迫が緩和されことに加え、経済活動の早期正常化への期待と新型コロナウイルス感染再拡大への警戒が交錯するなかでも市場の過度なリスク回避姿勢が後退したことなどから、米ドル／円相場は落ち着いた動きを取り戻すかたちとなりました。6月上旬には、予想を上回る米雇用統計の改善などを受けて米ドル高／円安方向に、7月後半には米長期金利の低下等を材料に米ドル安／円高方向に、それぞれ振れる局面がありましたが、いずれも一時的な動きに留まり、4月以降の米ドル／円相場は、概ね1米ドル＝106円～108円の範囲で明確な方向感に乏しい推移となりました。



(出所)ブルームバーグのデータ等を基に楽天投信投資顧問にて作成

※ファンドの基準価額への反映を考慮し、作成期間を1営業日前にずらして作成しております。

6 当ファンドのポートフォリオ

追加設定・解約による資金フローを鑑みながら、リート連動債のパフォーマンスを享受すべく、同債券の組入比率を高位に維持するよう運用を行いました。

7 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

8 分配金

分配金額は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価損益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定しました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、投資信託財産内に留保し、運用の基本方針にもとづいて運用いたします。

(1万口当たり・税込)

項 目	第115期	第116期	第117期	第118期	第119期	第120期
	2020年2月18日~ 2020年3月17日	2020年3月18日~ 2020年4月17日	2020年4月18日~ 2020年5月18日	2020年5月19日~ 2020年6月17日	2020年6月18日~ 2020年7月17日	2020年7月18日~ 2020年8月17日
当期分配金 (円)	15	15	15	15	15	15
(対基準価額比率) (%)	(1.366)	(1.393)	(1.606)	(1.310)	(1.402)	(1.376)
当期の収益 (円)	15	15	15	15	15	15
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	7,216	7,224	7,226	7,232	7,234	7,237

(注1)「対基準価額比率」は「当期分配金」の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2)「当期の収益」は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、「当期の収益以外」は収益調整金および分配準備積立金です。

(注3)「当期の収益」および「当期の収益以外」は、円未満を切捨てて表示しているため、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

当ファンドでは、引き続きリート連動債の組入比率を高位に保ちながら、安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行ってまいります。

お知らせ

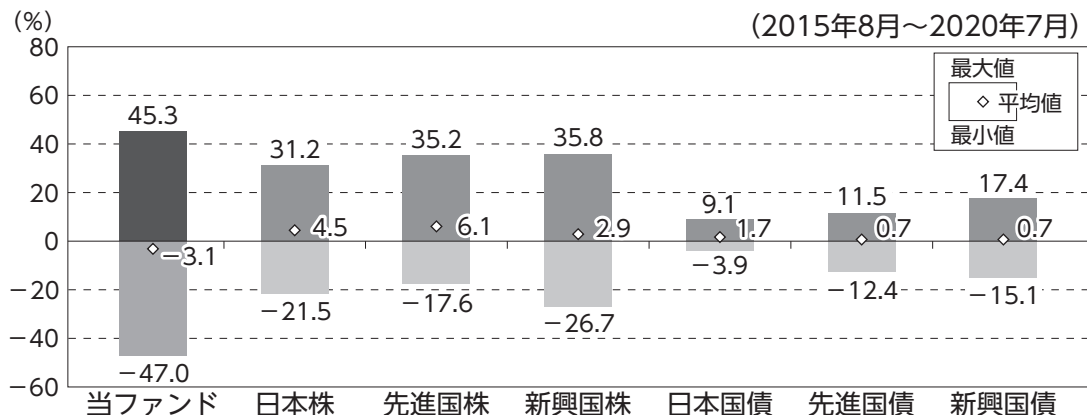
信託期間を延長し、償還日を2025年8月15日とする投資信託約款の変更を行いました。

(約款変更実施日：2020年5月15日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信
信託期間	2010年8月31日から2025年8月15日まで
運用方針	安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	特定のユーロ円債を主要投資対象とします。
運用方法	①主として、米国の不動産投資信託指数に連動する上場投資信託の投資信託証券ならびに対円貨でのブラジル通貨のパフォーマンスを反映するユーロ円債に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。 ②ユーロ円債の組入比率は、原則として高位を保つことを基本とします。 ③外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価損益を含みます。)等の全額とします。 収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 収益分配に充てなかった留保益の運用については特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。

ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1)当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、上記5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したもので、決算日に対応した数値とは異なります。

(注2)当ファンドの年間騰落率は、分配金再投資基準価額に基づいて計算した騰落率であり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注3)すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの騰落率は以下の各指数の騰落率です。

日本株：S&P日本総合指数(トータル・リターン、円ベース)

先進国株：S&P先進国総合指数(除く日本、トータル・リターン、円換算ベース)

新興国株：S&P新興国総合指数(トータル・リターン、円換算ベース)

日本国債：ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル国債：日本インデックス
(円ベース)

先進国債：ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル国債(日本除く)
インデックス(円ベース)

新興国債：ブルームバーグ・バークレイズ新興市場自国通貨建て高流動性国債
インデックス(円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※上記各指数に関する知的財産権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

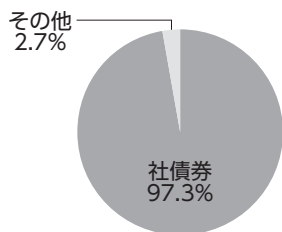
当ファンドのデータ

1 当ファンドの組入資産の内容

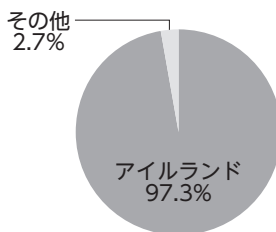
■組入銘柄等

	当作成期末
VAULT リート連動債(リアル) 07/13/22	70.5%
STAR Helios リート連動債(リアル) 04/09/21	26.8%
その他	2.7%
組入銘柄数	2

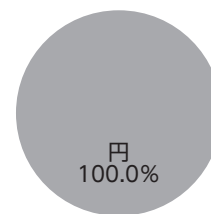
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2)国別配分につきましては発行国を表示しております。

2 純資産等

項 目	第115期末	第116期末	第117期末	第118期末	第119期末	第120期末
	2020年3月17日	2020年4月17日	2020年5月18日	2020年6月17日	2020年7月17日	2020年8月17日
純 資 産 総 額	10,866,807,260円	10,431,409,210円	9,007,254,950円	11,100,635,281円	10,357,347,466円	10,560,884,003円
受 益 権 総 口 数	100,334,777,516口	98,211,195,997口	98,040,296,560口	98,202,080,076口	98,144,328,937口	98,228,564,758口
1万口当たり基準価額	1,083円	1,062円	919円	1,130円	1,055円	1,075円

※期中における追加設定元本額は5,551,240,836円、同解約元本額は11,850,238,368円です。